

2024年8月5日

臨時レポート

8月5日の当社ファンドの基準価額の下落について

当社が運用する以下のファンドにおいて、本日8月5日の基準価額が大きく下落いたしました。ファンドの状況と基準価額下落の要因となりました市場の動向について、以下のとおりご報告いたします。

◆ ファンドの状況

基準価額および変動率(前営業日比 5%以上 下落)

ファンド名	基準価額(円)	前営業日比(円)	変動率
半導体関連 日本株式戦略ファンド	7,769	-1,465	-15.87%
DC リサーチ・グロース ファンド	19,146	-2,916	-13.22%
ジャパン・グロース・ファンド	12,393	-1,884	-13.20%
DC日本株式エクセレント・フォーカス	36,207	-5,380	-12.94%
日本株式エクセレント・フォーカスファンド	12,543	-1,863	-12.93%
日本株配当オープン	10,560	-1,543	-12.75%
次世代ファンド	15,885	-2,309	-12.69%
ニュー配当利回り株オープン	17,300	-2,478	-12.53%
SMT JPX日経インデックス400・オープン	21,168	-2,997	-12.40%
DCファンダメンタル・バリュー ファンド	29,941	-4,235	-12.39%
日経225インデックスファンド	41,944	-5,931	-12.39%
日経225インデックスe	20,618	-2,915	-12.39%
My SMT 日経225インデックス(ノーロード)	15,660	-2,214	-12.39%
SMT 日経225インデックス・オープン	40,579	-5,737	-12.39%
日本株式インデックス・オープン	14,304	-1,996	-12.25%
日本株式インデックスファンド	22,940	-3,201	-12.25%
SMT TOPIXインデックス・オープン	21,007	-2,931	-12.24%
日本株式インデックスe	29,415	-4,104	-12.24%
DC日本株式インデックスファンド	30,935	-4,316	-12.24%
My SMT TOPIXインデックス(ノーロード)	13,705	-1,912	-12.24%
インデックスコレクション(国内株式)	35,884	-5,006	-12.24%
DC日本株式インデックスファンドL	31,242	-4,358	-12.24%
DC日本株式インデックスファンドA	36,705	-5,120	-12.24%
DC日本株式インデックス・オープンS	19,851	-2,769	-12.24%
DC日本株式インデックス・オープン	28,669	-3,999	-12.24%
日本株式インデックス・オープン(SMA専用)	16,908	-2,358	-12.24%
SMT ETFカーボン・エフィシエント日本株	29,371	-4,067	-12.16%
SRI・ジャパン・オープン	12,805	-1,771	-12.15%
DCグッドカンパニー(社会的責任投資)	23,419	-3,236	-12.14%
日本株式SRIファンド	11,404	-1,571	-12.11%
DC日本株式ESGセレクト・リーダーズインデックスファンド	12,631	-1,723	-12.00%
SMT JPX日経中小型株インデックス・オープン	13,594	-1,853	-12.00%
中小型株式オープン	17,743	-2,396	-11.90%
キャッシュフロー経営評価オープン	17,503	-2,329	-11.74%
インバウンド関連日本株ファンド	13,753	-1,814	-11.65%

次ページに続きます。

2024年8月5日

ファンド名	基準価額(円)	前営業日比(円)	変動率
SMT ETF日本好配当株アクティブ	1,632	-206	-11.21%
SMT 日本株配当貴族インデックス・オープン	21,681	-2,566	-10.58%
日本株&Jリート 好配当フォーカスファンド	15,258	-1,470	-8.79%
国内株式SMTBセレクション(SMA専用)	20,674	-1,827	-8.12%
半導体関連 世界株式戦略ファンド	10,687	-935	-8.05%
次世代通信関連 アジア株式戦略ファンド	16,683	-1,364	-7.56%
ART テクニカル運用日本株式ファンド	9,180	-719	-7.26%
DCマイセレクションS75	23,721	-1,767	-6.93%
DCマイセレクション75	34,658	-2,556	-6.87%
SMT MIRAIIndex ロボ	28,696	-2,094	-6.80%
日本インフラ投信ファンド	8,438	-615	-6.79%
次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	22,021	-1,587	-6.72%
DC次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	14,531	-1,033	-6.64%
次世代通信関連 世界株式戦略ファンド(予想分配金提示型)	10,585	-722	-6.39%
脱炭素関連 世界株式戦略ファンド(資産成長型)	12,676	-864	-6.38%
脱炭素関連 世界株式戦略ファンド(予想分配金提示型)	9,985	-665	-6.24%
3資産バランスオープンアルファ	9,077	-602	-6.22%
DC脱炭素関連 世界株式戦略ファンド	12,451	-825	-6.21%
グローバル・インデックス・バランス・ファンド	26,702	-1,660	-5.85%
SMT MIRAIIndex エコ	24,568	-1,525	-5.84%
インデックスコレクション(バランス株式70)	33,445	-2,039	-5.75%
DCバランスファンド70	24,413	-1,469	-5.68%
イノベーション・インサイト 世界株式戦略ファンド(資産成長型)	15,207	-914	-5.67%
イノベーション・インサイト 世界株式戦略ファンド(予想分配金提示型・奇数月決算型)	9,586	-571	-5.62%
DCターゲット・イヤー ファンド2055	14,542	-858	-5.57%
イノベーション・インサイト 世界株式戦略ファンド(予想分配金提示型)	10,967	-634	-5.47%
SMT MIRAIIndex 総合	13,718	-788	-5.43%
米国大型テクノロジー株式ファンド	10,382	-596	-5.43%
SMT MIRAIIndex 宇宙	21,431	-1,225	-5.41%
DC世界経済インデックスファンド(株式特化型)	10,914	-616	-5.34%
米国成長株式ファンド	57,407	-3,227	-5.32%
SMT 日経アジア300インベスタブルインデックス・オープン	13,467	-751	-5.28%
アジア・オセアニア配当利回り株オープン	10,842	-587	-5.14%
SMT アジア新興国株式インデックス・オープン	34,116	-1,838	-5.11%

協会分類の特殊型(ブル・ベア型)は除きます。

2024年8月5日

◆ 市場の動向

8月2日の米国株式市場は大きく下落しました。

2日朝に発表された7月の米雇用統計で非農業部門雇用者数や失業率が市場予想比大幅に悪化したことから、景気の先行きに対する懸念が強まりました。また、1日の取引終了後に発表された米半導体大手インテルの決算発表において、7-9月期の売上高見通しが市場予想を下回ったほか、15,000人を超える人員削減が明らかにされたことが嫌気されて、情報技術セクターなどを中心に幅広い銘柄が下落しました。

アジア株市場でも、半導体関連銘柄の比率が高い韓国、台湾市場の株価が大きく下落しました。

外国為替市場では、リスク回避の動きから米国債の買いが優勢となり長期金利が低下したことなどから米ドル安となり、円高・米ドル安が進行しました。

8月5日の国内株式市場は前週末に続き、大きく下落しました。

米国経済の先行き懸念から米国株式市場が下落した流れや急激な円高の進行を受けて、朝方から先物市場でサーキットブレーカーが発動され一時取引が停止するなど、全面安の展開となりました。

円高の流れが止まらない中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場は取引終了にかけて一層下げ足を強め、日経平均株価は前日比4,451円安と過去最大の下げ幅を記録し、年初来安値を更新しました。

以上

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券等を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

投資信託にご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

1. 購入時に直接ご負担いただく費用 (1) 購入時手数料 上限 3.85%(税込) (2) 信託財産留保額 上限 0.1%
2. 換金時に直接ご負担いただく費用 (1) 信託財産留保額 上限 0.5%
3. 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 (1) 信託報酬 上限年率 2.09%(税込、概算)

※ファンド・オブ・ファンズ形式の場合は、一部を除き、投資信託が投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。

※一部の投資信託および投資信託証券には運用実績等に基づき計算される成功報酬額が別途かかる場合があります。この場合、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合がありますが、成功報酬額は運用実績等により変動するため、上限額等を事前に表示することができません。

4. その他費用 (1) 上記以外に投資信託の保有期間等に応じてご負担いただく費用(*)があります。これらの費用は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等を事前に表示することができません。

(*) 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資信託証券の解約に伴う信託財産留保額、および投資信託が実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等

上記の費用の合計額については、お客様が投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率(作成日現在)を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

◆設定・運用は



商号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

投資信託の手数料等およびリスクについて

当社取扱いの投資信託のお申込み、一部の投資信託のご換金にあたっては、お申込み金額に対して最大3.3%（税込み）の申込手数料または換金手数料をいただきます。また、換金時に直接ご負担いただく費用として、信託財産留保額をご負担いただくことがあります。投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、信託財産の純資産総額に対する信託報酬のほか、運用成績に応じた成功報酬、運用会社報酬等の名目でご負担をいただくことがあります。また、その他の費用を間接的にご負担いただくこともあります。

投資信託は、主に国内外の株式をはじめとした値動きのある証券を投資対象とするため、当該資産の市場における取引価額の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。従って損失を生じるおそれがあります。

なお、投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書等をよくお読みください。

 おきなわフィナンシャルグループ

 おきぎん証券

おきぎん証券株式会社

金融商品取引業者

沖縄総合事務局長（金商）第1号

加入協会 日本証券業協会

【雛審 2022.11.9】